



# シリーズ 講師に聴く!

VOL.2



出前講義は僕のライフワーク!? すべては生徒のために……。

古川支部 金子 忠良

私は、社労士登録をした翌年の平成22年より、この高校出前講義の講師を務めております。それまでは、高校生を含む若年者対象の講義は皆無でした。当時は、当該講師未経験者は、一度、経験者についてからという補助経験制度がありました。しかし、事業を立ち上げた初代委員長：大江恵子先生より、ある日、突然、「〇〇高校に行ってもらえますか。あなたなら大丈夫だから」という言葉に踊らされ（正確に書くと電話連絡を頂き）、補助も未経験でありながら、不安を抱え高校講義に1人で出向くことになりました。

指名された理由は、遠方の高校で講師が見つからなかったからか、自分に教員免許があったからかは、今となっては理由は不明ですし、怖いのであえて聞きません。

最初の高校の生徒からのアンケートで、好評価?を得たのかは定かではありませんが、今日まで継続して務めております。講師をしていて考えることを以下に、徒然なるままに書きたいと思います。

## ① 講師を務める上で心掛けていること。すべては生徒のために……。

最近では、主に、全国社会保険労務士会連合会作成のテキストに則り、パワーポイント (PPT) などの資料を作成して講義をしています。

でも、実施時期 (5月～6月の年度始め) によっては、全て自分で作成した「求人票 (高卒)」「労働条件通知書」「レジュメ」などの資料のみで実施をすることもあります。

時期に関わらず、これから社会に出る生徒のことを考えて、一風変わった選択式のクイズやワークを取り入れ、『楽しんで学ぶ』をモットーに資料の作成を心掛けています。私自身、極めて凝り性で、資料作成には、ことのほか、時間を掛けているくらいがあります。

現在、実業系の学校であっても、卒業後、すぐに就職をする生徒は、半分以下ということもありますが、2年後、4年後に就職をするときに役立ててもらえればと思って全力で話をしています。この内容の講義では、生徒とは一期一会!二度目は無い。すべては生徒のために……。

また、これまで、より良いものをと考えて、修正を加え、同じPPTで講義をしたことはありません。今の講義資料と比べれば、初期の頃の資料は、私自身、満足のいくものではないですし、聴講していた生徒への申し訳なさもあります。

## ② 講義内容の綿密な打ち合わせは、私の講義の生命線!

日時の確認、学校からお借りする会場、設備・機材面、テキスト送付時期、資料印刷などについては、簡単な確認程度で済ますこともあります。

しかし、受講対象の生徒については、就職希望者の割合や生徒の雰囲気 (同じ学校でも年度により異なる)、男女比率 (産前産後休業、育児休業の盛り込み方)、女子高であればセクハラについて触れるか否か、最近であれば、18歳成人で安易なクレジットカード作成～ローン地獄、SNSでの情報漏洩が契約違反になる等々、オプション的な内容については、進路部の担当の先生と綿密な打ち合わせを心掛けています。

## ③ 社労士は魅力のある職業だ、社労士を知って欲しい。僕は“広報マン”!

この社労士による出前授業 (講義) は、全国社会保険労務士会連合会で、「一人でも多くの人に、いきいきと職場で働いてもらいたい」という考えから、学校教育 (出前授業) 教材を作成するとともに、全国47都道府県にある社労士会を通じて行っているものです。

社労士は魅力のある職業だ、社労士を知って欲しいなど知名度向上などの広報活動も兼ねて、宮城県社労士会でも実施をしていますし、僕自身も、“広報マン”の意識を持っています。

④ こんな私でも、少しだけ反省?をします(笑)

講師それぞれに特徴があると思いますが、参考まで、私は、弾丸口調で、小話や具体例を盛り込んだり、大きな声でフレーズを発したり、時には、「ブラック企業じゃん!」「やばくね」などタメ口口調を入れたり、生徒にマイクを向けたり、全員に挙手を求めたり、パフォーマンス型で講義をしています。今後は、言葉遣いには気を付けたいと思っはいます(一応、反省!でも変わらないだろうなあ)。

でも、準備は極めて周到に、講義はしっかりと実施をしています。多少のトラブルがあっても、終わりよければ全て良しです!(但し、楽観主義者ではありません) そのような社労士だと思ひご容赦いただき、今後も関係者の皆様、お付き合いを下さいませ。

⑤ アンケートに書かれたメッセージが次の講義への活力!

講義後、生徒や聴講された先生方のアンケートに書かれたメッセージや直接の言葉が、次の講義への活力となっています。

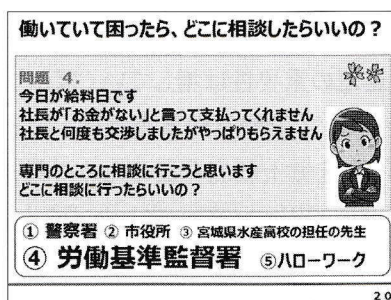
一例を紹介すると、「面白かった・楽しかった」「とても印象に残る講義でした」「就職してから活かしたいです」「ピンチ、ちょー最高でした!」「いい意味で、クセのある講師でした(笑)」「←僕にとって最大の賛辞」「最後のエール・応援が心に響いた(勇気がわいた・頑張る)」「←ここでは秘密)など。このようなメッセージや謝辞、そして、時には、講義後、卒業式の場面のような拍手喝采を浴びながら退場をするときなどは講師冥利に尽きます。

当然のことながら、毎年、僕の年齢が嵩み、高校生との年齢差は増しますが、生徒から、タメ口、で話しかけて頂ける限りは頑張ろうと思ひます。

このように、自由に講義を楽しめるのは、松前ゆかり委員長を始めとする出前講義委員会の先生方、講師仲間、社労士会事務局スタッフのバックアップがあるからこそです。感謝!感謝!です。心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。



石巻市立桜坂高校



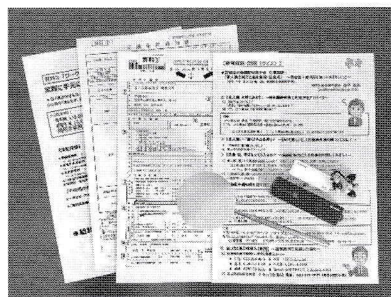
PPTのスライド(クイズの一例)



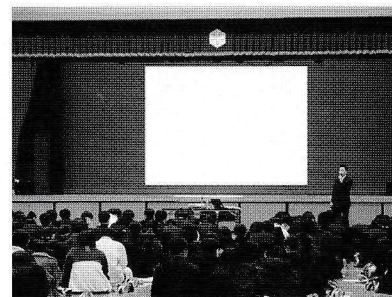
小職の全力の講義光景!  
(宮城県登米総合産業高校)



宮城県水産高校



自作作成資料  
(求人票・労働条件通知書・レジユメ)



宮城県塩釜高校